

スポーツ・文化・生涯学習の振興

スポーツでは、昭和二十二年（一九四七）、石川県で第二回国民体育大会が開かれた。小松市において軟式野球競技会場として、芦城公園野球場を主会場に開催された。これを契機に市民のスポーツに対する関心が高まり、昭和二十三年に小松市体育協会が結成



国体軟式野球会場となる芦城公園野球場ができる(小松市立博物館提供)

された。

平成三年（一九九二）には、第四十六回国民体育大会が石川県で開催された。小松市ではハンドボール、体操、ラグビー、カヌーレーシング競技の四種目が行われた。特に石川県体を契機に木場潟にカヌーコースが設置され、その後コースの大規模改修による決勝



市立女子高校（現・市立高校）ハンドボール全国高校総体初優勝（昭和48年）（『小松市制50周年記念誌』より）現在まで3大会（高校総体、国体、選抜）で23回優勝している

タワー、新艇庫の建設などにより数多くの国際、国内大会が開催されている。平成八年四月には、県下の市町村に先駆けて社団法人小松市体育協会が設立された。現在種目協会四一、校下体育協会二六、スポーツ少年団、中学校体育連盟等が一体となり、市民の健康



第5回日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会（平成21年9月）

増進に努めている。

公民館活動では、昭和二十三年小松市立公民館が設立され、昭和二十四年小松市中央公民館と改称され本格的な活動が始まった。青年団や婦人会を始めとする地域諸団体の活動拠点として各地に公民館が設置された。昭和三十年六月小松市公民館連絡協議会（現・小松市公民館連合会）が結成された。

昭和三十四年六月に、全国公民館大会（第八回）が新築の公会堂で開催された。北海道から沖縄までの関係者二〇〇〇名が参加した。

現在の公民館体制は、

中央公民館、地区公民館（市立公民館含む）、地区公民館分館がある。地域の連帯と自治力を強



第8回全国公民館大会 昭和34年 小松市公会堂（『小松市制50周年記念誌』より）



みんなであうたう小松第九コンサート（平成21年）（小松第九を歌う会提供）

め、地域に根ざした活動をすすめるなかでまちづくりをめざしている。

文化面では、昭和三十三年に小松市文化協会が結成された。

現在二五協会が加盟している。小松市邦楽舞踊大会・みんなであうたう小松第九コンサート・こまつ民謡まつり、小松地区華道連合会華展、小松市民お茶の会など、それぞれの分野で各種行事や発表会を通して、市民の文化に対する志向や理解が深まってきている。

平成十六年には、「こまつ芸術劇場うらら」が完成し、小学生を中心とす

る「全国子供歌舞伎フェスティバル in 小松」が開催されている。市内の中学校十校が持ち回りで受け持つ歌舞伎「勸進帳」の上演、お旅祭りの曳山子供歌舞伎の上演とともに、「いよっ小松く勸進帳のふるさと」のキャッチコピーで歌舞伎のまち小松を全国に発信している。（橋本正華）



昭和61年から始まった市内の中学生が「智・仁・勇」の心を演じる勸進帳（平成20年）